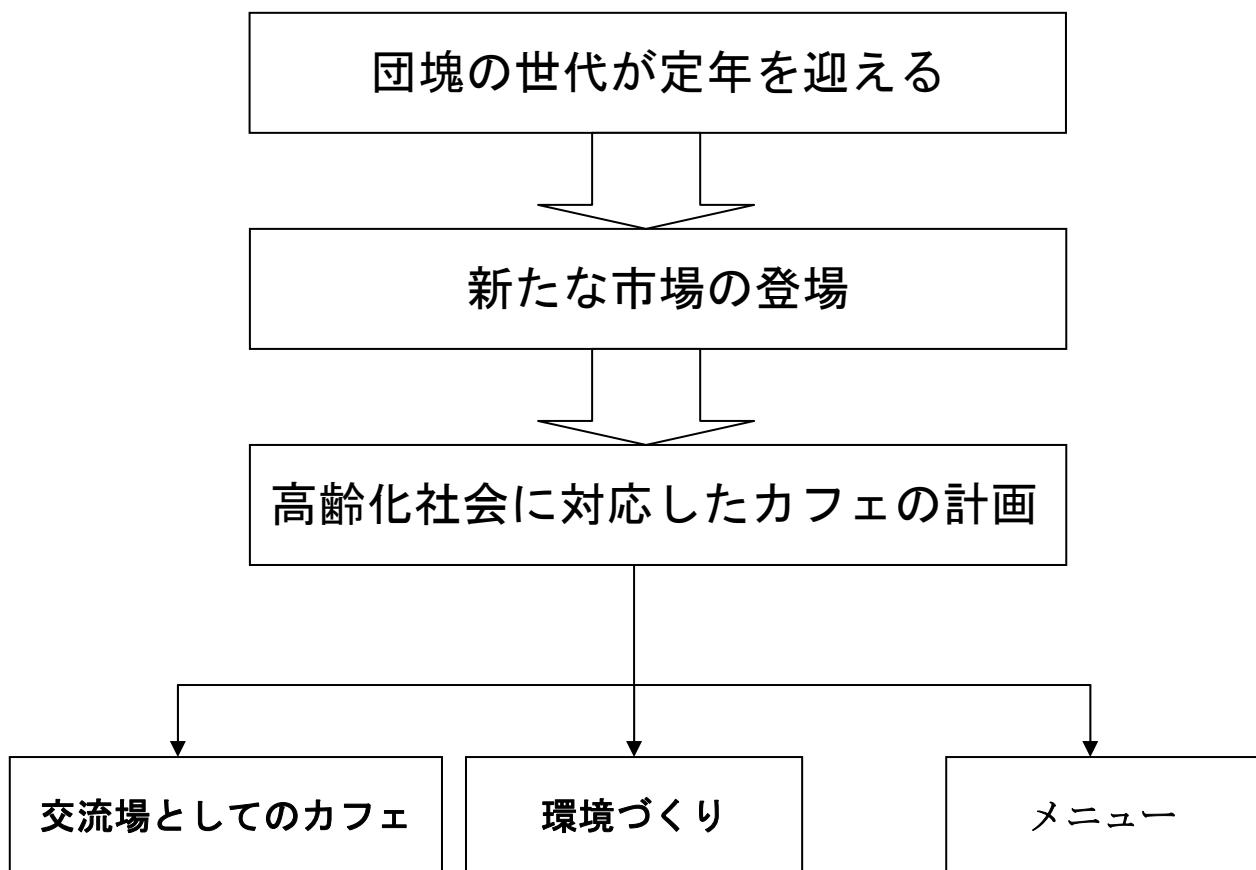


# ～高齢化社会に向けたカフェ経営～

10班 松元、宮崎、菅原、佐藤、櫻井、川西、今村

2005年 6月9日



## ○新たな市場の登場

日本の高齢化は進み、数年後には団塊の世代が定年退職を迎える。

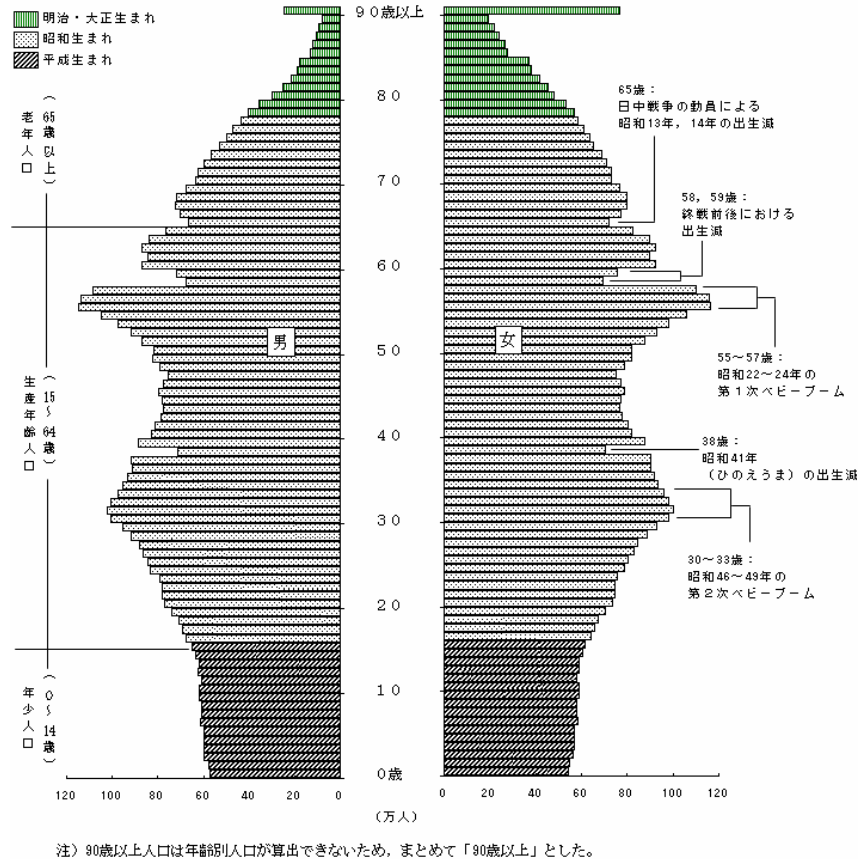


図1 日本の人口ピラミッド

## これらの世代は

- ・ 会社や駅での缶コーヒーなどでコーヒー文化が根付いている。

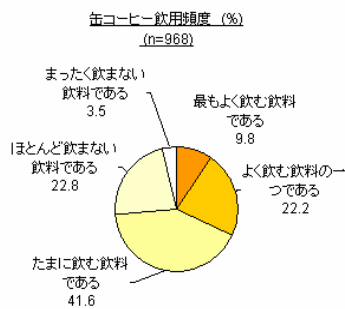


図2 缶コーヒー飲用頻度

- ・ (コーヒーをどの程度飲用しているかを尋ねたところ、「最もよく飲む飲料である」45%、「よく飲む飲料の一つである」35%と、合わせて8割の人がコーヒーをよく飲む飲料であると回答した。) ネットリサーチマクロミル調べ
- ・ 定年退職後は暇な時間が増え、外出先や他人との交流を望んでいる。

- ・ 金銭的にも比較的余裕

つまり

## 新たな市場開発のチャンス

しかし

### ○現状分析

#### 現状のカフェは高齢化に対応できているか？

- ・ 英語やカタカナだらけのメニュー  
→フラペチーノ、マキアート、ラテ等
- ・ 読みづらいメニュー表記
- ・ わかりにくいセルフサービス
- ・ 都市部に店舗が集中
- ・ 照明や雰囲気は若者向け

つまり

## 現状のカフェは高齢者には入りづらい

## ○政策提言

### 1、交流場としてのカフェ計画

- ①出店場所を住宅地周辺へ  
→病院、公民館、図書館、温泉の近くなど
- ②囲碁、将棋盤の貸し出し  
→来店者の習慣化。レンタル料の収入も。
- ③川柳、短歌、俳句会等のイベント  
→飽きさせないイベント
- ④テレビの設置  
→野球や相撲の観戦を可能に

### 2、高齢者に対応した環境づくり

- ①セルフサービスの廃止  
→フルサービスへの移行
- ②店内のバリアフリー化  
→段差をなくす、手すりの設置、広い通路、文字は大きくする等
- ③雰囲気作り  
→和室、座椅子等の設置

### 3、高齢者に対応したメニュー

- ①商品名の改良  
→わかりやすい商品名にする。
- ②健康を意識したメニュー  
→コーヒーの健康効果をアピール  
豆乳、黒豆等の健康食品の充実←テレビ番組で紹介されたものを積極的にメニューに導入。
- ③コーヒー以外のメニューの充実  
→茶、和菓子等  
食事メニューの充実
- ④日本の銘菓を揃える  
→ちんすこう、信玄餅等
- ⑤夜はアルコールメニューの販売

## ○参考文献

日経テレコン 21

総務省統計局

<http://www.stat.go.jp/>

高齢者の日常生活に関するアンケート

KDDI 株式会社／(株)KDDI 研究所／バリアフリーライフ技術研究会 樋口 宜男

[http://www.h2.dion.ne.jp/~bfl/publication\\_0108b.htm](http://www.h2.dion.ne.jp/~bfl/publication_0108b.htm)

スターバックスホームページ

<http://www.starbucks.co.jp/ja/home.htm>

ドトールコーヒーホームページ

<http://www.doutor.co.jp/top.htm>

ネットリサーチマクロミル

[http://www.macromill.com/client/r\\_data/20030218coffee/index.html](http://www.macromill.com/client/r_data/20030218coffee/index.html)